

防災意識と顔の見える関係作りの大切さを実感

—福島県総合防災訓練（8月26日）参加報告—

コロナ禍で中止になっていた福島県総合防災訓練が5年ぶりに開催されました。

訓練は、災害対策基本法、福島県及び郡山市の地域防災計画に基づいた訓練で、県内13市を持ち回りで行っています。今年は郡山市カルチャーパークをメイン会場に多くの関係団体、市民、総勢2000人が参加、福島県看護協会からは郡山支部の4名が参加し、医師や救急隊員と共に負傷者の対応訓練を行いました。

今回の参加を通して、負傷者対応技術や防災意識が高まったとともに、医師や救急隊員の方々と活動を共にできたことは大きな収穫であり、災害対策における顔の見える関係作りの大切さを強く感じた活動でした。

支部長 阿部初江

